

参議院議長公邸にレンガを搬入

－江田参議院議長が、公邸の庭に人形峠製レンガを敷設－

平成 21 年 7 月 6 日、江田五月参議院議長は参議院議長公邸の庭花壇の縁取りに、人形峠製のレンガを敷設されました。敷設後、自ら放射線測定器で値を測ってその安全性を確認されるなど、あいにくの雨模様にもかかわらず、熱心に作業を進められました。

これは、本年 5 月 28 日、文部科学省と原子力機構（東京事務所）を江田議長が来訪された際に、人形峠製のレンガを使用した鉢置台等をご覧になり、一般の建材と変わらないことを確認された際、広く社会的理解を得ることを目的としたその趣旨に賛同され、参議院議長公邸の庭に敷設されることとなったものです。

（参考）

人形峠製のレンガは、平成 18 年に文部科学大臣、鳥取県知事、三朝町長、原子力機構理事長の合意に基づき、鳥取県湯梨浜町におけるウラン探鉱活動により生じた残土から製造したもので、安全性は第三者機関である財団法人原子力安全技術センターによって確認されています。



公邸の庭にレンガを敷設される江田参議院議長（左）
と原子力機構石村理事（右）



放射線測定器で放射線量を確認される江田参議院議長